

証券コード 5991

NHKニッパツ

日本発条株式会社

第82期
株主の皆さまへ

平成13年4月1日から平成14年3月31日

もくじ

ごあいさつ	1
製品バリエーション	3
事業概況	
懸架ばね部門	5
シート部門	6
精密ばね部門	7
産機・情報セキュリティ部門	8
海外部門・研究開発部門	10
決算情報	
単独情報	
貸借対照表	11
損益計算書	12
利益処分	12
連結情報(ご参考)	
連結貸借対照表	13
連結損益計算書	13
株式概況	14
役員・株価の推移	14
株主メモ・会社概要	裏表紙

当社第82期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、世界的な景気の減速を背景に輸出が減少し、企業の設備投資および個人消費も依然として低迷を続けるなど、厳しい環境下で推移いたしました。

当社の主要な得意先の自動車産業は、景気の低迷が続く中、国内販売は5,825千台で前年度比2.6%の減少となりました。一方、完成車輸出は米国向け輸出が堅調に推移したものの、欧州市場等の不振により4,248千台で前年度比2.9%の減少となりました。この結果、当期の国内生産台数は9,807千台で前年度比2.4%の減少となりました。

また、もう一方の主たる得意先の情報機器関連産業は、世界的な需要の停滞により、厳しい事業環境となりました。

このような低迷した状況のもとで、当社は一層の収益構造の改革に取り組むとともに、グループ全体での事業基盤の強化に努めてまいりました。

収益構造の改革といたしましては、主力製品の販売価格の大幅下落に対応するため、購入費用の削減を集中的に推し進めるとともに、全社一丸となって原価低減に努めました。

事業基盤の強化につきましては、懸架ばね部門では米国のNHK-アソシエテッド スプリング サスペンション コンポーネンツ社の巻ばねラインの増設を行い、また、中国市場での工場建設の検討を始めました。シート部門ではフランスのフォルシア社との提携により国内での新規受注に成功し、フォルシア・ニッパツ株式会社を設立いたしました。

以上のように、当社は不透明な経営環境のもとで活発な営業活動を展開いたしました。売上数量の伸び悩みと販売価格の低下の影響を受け、当期の売上高は142,741百万円で前年度比7.5%の大幅減収となりました。一方、収益

面では、徹底した原価低減活動の展開を行ったものの、売上高減少の影響により経常利益は3,280百万円で前年度比23.4%の減益となりました。この結果、当期利益は1,810百万円にとどまりました。

なお、当期末の利益配当金は、昨年12月にお支払いしました中間配当金と同じく1株につき3円といたしました。

今後のわが国経済は、一部で景気回復の兆しがあるとはいえ、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況のもとで、当社はユーザーにご満足いただける製品をいち早く市場に投入する一方で、ゼロ成長でも安定収益を確保する経営体質の実現に向けて企業構造改革の一層の推進を図る所存であります。また、グループ各社の安定した経営基盤の確立に向け、経営資源の選択と集中により戦略的なグローバル連結経営の推進と企業価値の増大に努めてまいります。

株主の皆さまのご支援に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

取締役会長 前田次啓

取締役社長 佐々木謙二



取締役社長 佐々木謙二

取締役会長 前田次啓

ばね・シートから情報・産業機器までの ワイドバリエーション

トラック用板ばねの生産から事業を開始したニッパツ。自動車産業の成長とともに、生産品目もその種類と分野を広げ、自動車のいろいろな機能を支える製品を生産しております。

また、ニッパツの技術は自動車関連のみならず幅広いジャンルで活躍しております。マイクロメートル単位のメカニカルな部分を受け持つ精密ばね製品、IT(情報技術)の進展を支えるHDD(ハードディスクドライブ)用サスペンション、スペースを有効利用できる多段式駐車装置、さらにエレクトロニクス技術を駆使した情報セキュリティ製品など、いずれも常に新しいニーズに応え、あらゆる分野にその多彩な技術で貢献しております。

サイドエアバッグ付きシート

側面からの衝撃を緩和し、乗員を保護します。エアバッグをシートに内蔵しているため、シートのポジションに関係なく安全効果があります。



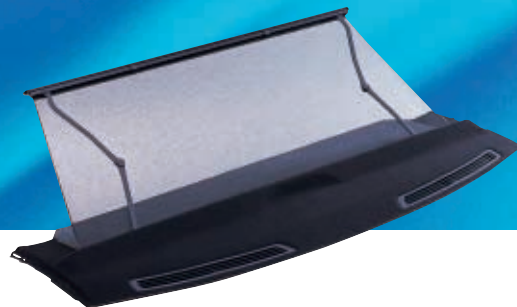
懸架ばね

高応力化により軽量化を図った各種懸架ばね。コンパクトなスペースにレイアウトできる「たる形ばね」。走行安定性と乗り心地向上に優れています。



金属ベローズ製品

メンテナンスフリーかつ抜群の耐久性を備えた金属ベローズ製品群。ガススプリング、油圧アクチュエータなどとして多方面で活躍しています。

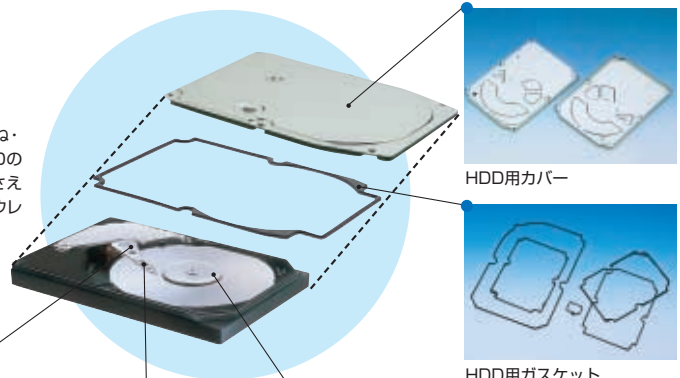


電動サンシェード

リヤウィンドウ用で車内への直射日光を遮ります。開閉が自動で行える高級感のある製品です。

情報通信機器部品

情報通信機器には高い精度と品質をもつ精密ばね・プレス品、化成品が使われています。中でもHDDのヘッドを支持するサスペンションやディスクを押さえるクランプリング、ガスケット用の薄物シート状ウレタンなどは高い評価を得ています。



HDD用カバー



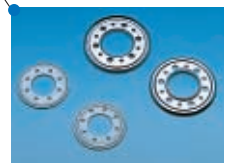
HDD用ガスケット



HDD用キャリッジ部品



HDD用サスペンション



HDD用クランプリング



駐車装置

限られた駐車スペースを有効利用できる二段・多段式駐車装置です。マンションやテナントビルに広く利用されています。



線ばね

バルブスプリングやクラッチ用ばねなど車の多くの場所で使用されています。



スーパーシール・スーパーシート

当社独自の製造技術をベースとした特殊ウレタン製品です。防水、気密、吸音などの用途に幅広く利用されています。



キー・ビスカス

偽造防止効果の高い機械認識ホログラムを利用したビスカスは、警備機器などハイセキュリティ分野で使用されています。

懸架ばね部門

当部門は、優れた技術と生産体制により、市場において安定した評価と高いシェアを確保しております。当部門の強みは北米、中南米、欧州、東南アジア、台湾およびインドに12の関連会社を持ち、常に市場ニーズを取り入れて世界トップレベルの技術力、開発力、品質管理体制を維持していることであります。

また、自動車の軽量化と性能向上ニーズに応えるため、新開発の高強度材料を使用した板ばね・コイルばね・中空スタビライザを実用化しました。

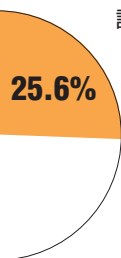
新製品の「L形コイルばね」は、米国、欧州、国内乗用車に採用され好評を得ております。乗用車の乗り心地の改善に対して大きな効果があり、今後、数多くの採用が予定されております。

また、欧州市場で数多く採用されている「たる形ばね」については、横浜工場に生産設備を新設し量産体制を整備しました。

一方、自動車部品のモジュール化に対応して、懸架装置のシステム化を積極的に進めております。コイルばねとショックアブソーバを組み込んだモジュール品、スタビライザリンクと横ズレ防止用アルミリングを取り付けたスタビライザユニット

ト、トラック用のエアサスペンションシステムなど、国内外の自動車メーカーより注目され、高い評価を得ております。

懸架装置以外の分野では、金属ペローズを応用したアキュムレータがあります。すでにこの製品は、サスペンション、エンジン燃料噴射ポンプの脈動吸収用に使用されておりますが、さらに小型、軽量化製品を昨年開発し、ブレーキ蓄圧用などの大量に使用される用途への拡販を進めております。



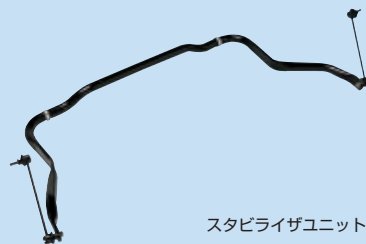
懸架ばね部門の売上高構成比

主な営業品目

板ばね、コイルばね、スタビライザ、トーションバー、スタビライザリンク、ラジアスロッド、アキュムレータ、ガススプリング、サスペンションアーム



L形コイルばね



スタビライザユニット



自動車用アキュムレータ

シート部門

当部門は、徹底した品質管理と高い技術力があいまって、ユーザーに喜ばれる世界トップクラスの自動車用シートとサービスを提供しております。当部門の強みは、特定の自動車メーカーの系列に属さず、国内各社の乗用車、商用車のシートをデザインから設計、生産、品質管理まで一貫したシステムで供給していることにあります。国内のみならず、北米、東南アジア、中国、台湾の海外7社の関連会社でも同様に、日系自動車メーカーを中心に高い評価を得ております。

また、自動車の快適な乗り心地・安全性向上・軽量化など、ユーザーのニーズにも応えております。

快適な乗り心地を追求した表皮一体成形シート、多機能なパワーシート、エアサスペンションシート、振動吸収ウレタンパッド、安全性を向上させた高強度両側ロックリクライナ付きシート、衝突時にシートクッションの中のストッパーパイプが跳ね上がり、乗員の傷害を低減させる CRD (クッション・レストレイント・デバイス) などを実用化し、国内外の市場で高い評価と信頼を得て自動車メーカーに採用されております。

さらに衝突時にヘッドレストが前方に移動することにより、乗員の鞭打ち傷害を低減させる AHD (アクティブ・ヘッドレストレイント・デバイス) をはじめ、乗員の安全確保のため、シートの新しい安全装置の開発が完了しております。

一方、自動車用内装分野では、リヤウインドウ用で車内への直射日光を遮る電動サンシェードが高級車に採用され、カーゴネット、トノカバーなど快適性向上を狙った製品もあわせて、市場の拡大に努めてまいります。



32.0%

シート部門の売上高構成比

主な営業品目

自動車用シート、シート用機構部品 (リクライニング、安全部品) および内装品 (サンシェード、トノカバー)



カーゴネット付きリヤシート



CRD (クッション・レストレイント・デバイス)



両側ロックリクライナ

精密ばね部門

当部門の精密ばね（線ばね、薄板ばね）およびその応用機能ユニットは、自動車、二輪車をはじめとして家電製品、コンピュータなどの情報通信機器に至るまで、あらゆる分野の製品に組み込まれております。

これらの製品は、市場のニーズとたゆみない技術開発から生み出され、精度の高い材料・設計・加工技術を活かして生産され、国内外の市場で高い評価と信頼をいただいております。

中でも、HDD（ハードディスクドライブ）用サスペンションは、世界第2位の生産実績を誇っており、国内はもとより海外のHDDメーカーに製品

を供給しております。現在、HDDはますます高速化、大容量化しており、サスペンションには、より高精度と高品質が求められております。昨年、市場投入した「風魔」は、国内外のHDDメーカーから高い評価をいただいております。当部門はたゆみなく新製品の開発に傾注し、市場シェアの向上に努めております。

さらにHDD用部品のカバー、クランプリング、キャリッジ部品の開発は日本で行い、その大半はタイのNHKスプリング（タイランド）社で生産しております。

また、電子機器の検査に使用されているマイクロコンタクタは、その小型化、高機能化の要求に対して、世界最小といわれる微細ばねを使い、ますます細かいピッチで対応できるようになりました。

今後、さらに成長の見込まれる分野で応用製品の拡大に努めてまいります。

32.2%

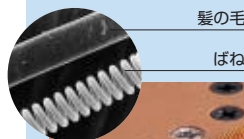
精密ばね部門の売上高構成比

主な営業品目

HDD用部品（サスペンションおよび機構部品）、線ばね、薄板ばね、液晶・半導体検査用プローブユニット、精密接合品、精密加工品、応用機能ユニット



HDD用サスペンション「風魔」



マイクロコンタクタ

産機・情報セキュリティ部門

(産機部門)

当部門は、当社のもつ各種技術を結びつけ、様々な分野のニーズに応える製品を提供しております。

接合・セラミック部門は、半導体製造装置用の部品として、ろう付技術を利用した製品を生産しております。特に、当社独自の製造方法により生産するアルミ材質のろう付製品は、高い評価をいただいております。また、セラミック精密部品としては、光ファイバー用接続部品の販売を開始いたしました。

この製品は、今後光通信の普及に伴い、売上の増加が期待できます。

プラント装置部門は、国内外に建設される発電所や石油・化学プラントに使用される配管支持装置などを生産しております。

パーキング部門は、二段・多段式駐車装置をシリーズ化し、主にマンション向けに納入しております。当社は事業の強化を図るため、販売、施工、メンテナンス部門を分社化しており、設計から施工、メンテナンスに至る総合技術は、業界において高い評価を得ております。

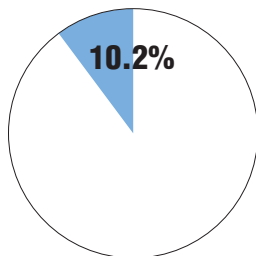
化成部品部門は、防水機能を主とした特殊ウレタン製品を生

産しており、自動車、家電、情報通信機器、建設分野など幅広い市場で高い評価をいただいております。中でも、高密度薄物シート状ウレタンは、従来のHDDガスケット用に加え、フレキシ印刷用クッション材などへの需要拡大が期待されます。また、リサイクル性に優れたオレフィン系樹脂の発泡体を開発し、販売しております。

電子部品部門は、金属ベースのプリント配線板を高度な品質管理のもとで一貫生産しております。鉄ベースのプリント配線板は、主に精密マイクロモータの回路基板として使用されております。また、アルミベースのプリント配線板は、放熱性及び塑性加工性などの優れた特性を活かし、電源装置、自動車用電装装置などの用途に需要が拡大しております。

主な営業品目

(接合・セラミック)ろう付製品、セラミック製品
(プラント)配管支持装置
(パーキング)駐車装置
(化成品)ポリウレタン製品
(電子部品)プリント配線板
(情報セキュリティ)セキュリティシステム、警備端末機、カードリーダライタ、偽造防止システム、設計支援ソフトウェア



産機・情報セキュリティ部門の売上高構成比



ろう付製品



駐車装置



特殊ウレタン製品



金属ベースプリント配線板

(情報セキュリティ部門)

当部門は、情報化社会の偽造防止ニーズに応えるため、当社独自に開発した機械認識によるセキュリティシステムを展開しております。

当期は、多発している株券偽造防止対策として、自社開発の特殊ファイバー“FibeCrypt”(ファイブクリプト)を用いた個別株券認証システム“IOSAS”(イオサス)を前期に引き続き信託銀行へ納入いたしました。本システムは、株券媒体にファイブクリプトをすき込み、そのファイバーを専用センサーにて機械認識することにより、株券の真偽判定を高速かつ確実に大量処理し、偽造株券を発見排除するシステムであります。

また、最近、国内外で高級ブランド品や工業製品等の偽造品が多発しており、これらの偽造品はたいへん精巧に作られ、目視判別が難しくなっております。その対策として真偽判定用のホログラムも実用化されておりますが、それ自体が偽造されており、目視での判別は難しい状態にあります。

そこで、この偽造品対策として、特殊な光学特性をもつホログラム“Trustgram”(トラストグラム)を開発し、懐中電灯、電池、パソコン用インクカートリッジメーカーなどに納入し効果をあげております。

トラストグラムには目視判定対策としてホログラムの表面の色が変化するカラーシフトや簡便に真偽判定が可能なハンディビューアのほか、専用センサーによる大量確実な真偽判定ができる方法も用意しております。

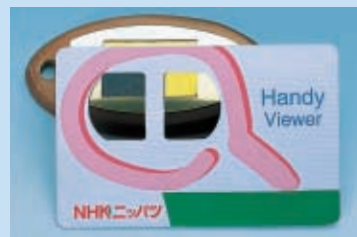
今後も自動車部品、家電製品、衣料品、医薬品等、さまざまな分野への導入を進めており、ますます需要が拡大するものと期待しております。



IOSAS (イオサス) 個別株券認証装置



FibeCrypt (ファイブクリプト) 製品



Trustgram (トラストグラム)

海外部門

当部門は、海外進出先での経済発展への貢献、地域社会との融合を基本理念として積極的に事業を展開してまいりました。

当期の主な活動としては、情報通信機器部品の受注拡大に対応するため、NHK スプリング(タイランド)社で設備増強を行いました。北米においては、自動車用部品の受注拡大に対応するためNHK-アソシエイテッド スプリング サスペンション コンポーネンツ社で巻ばね新ラインの稼働を開始し、ニュー メーカーメタルス社で第二工場の建設に着工しております。

一方、国内ではフランスのシートメーカーであるフォルシア社との合併会社を新設し、シート事業の受注増に向け対応中です。

今後も、客先への世界最適供給を実現するため、当社の11ヵ国25社の海外拠点をフルに活用し対応してまいります。



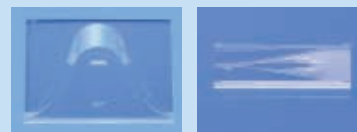
ニュー メーカーメタルス社 第二工場

研究開発部門

当部門は、次世代ニーズに基づいた基幹事業の展開と新しい事業分野の開発を目指して、基盤技術から新製品に至るまでの開発を積極的に推進しております。

近年インターネットの普及などで注目されている光通信分野は、新たに開発を進めている分野のひとつです。当社では、独自の製造法により光導波路型分岐器を開発し、あわせてそのパッケージ化技術、さらに高密度伝送のキー部品となる光導波路型分波器の開発も進めております。その他に、金属細線成形技術に基づいたエンジン部品を強化するための金属繊維強化材や、メカトロニクス技術に基づいたITS(高度道路交通システム)製品である車載用レーザーダクチュエータなども新事業テーマとして取り組んでおります。

また、金属材料技術、高分子材料技術、セラミック材料技術および接合技術などの基盤技術の強化も積極的に進めております。



光通信部品(上)と光導波路各種チップ(下)

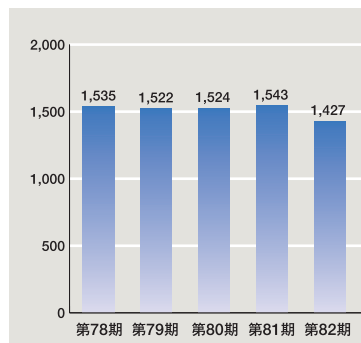
単独情報

貸借対照表

(単位：百万円)

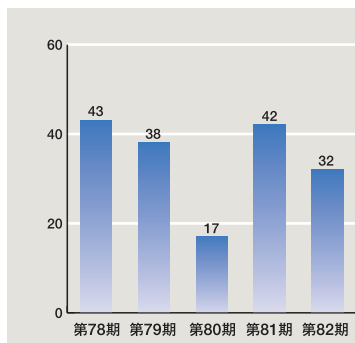
科 目	第82期 平成14年3月末	第81期 平成13年3月末
(資産の部)	169,320	177,490
流動資産	67,130	72,708
現金及び預金	10,592	5,262
受取手形・売掛金	41,312	42,884
有価証券	—	3,597
棚卸資産	8,602	8,037
その他	6,877	13,138
貸倒引当金	△255	△214
固定資産	102,190	104,782
有形固定資産	63,665	64,928
建物・構築物	26,182	26,215
機械装置	20,314	22,426
土地	12,589	11,812
建設仮勘定	1,814	1,587
その他	2,764	2,885
無形固定資産	900	661
投資等	37,624	39,192
投資有価証券	22,836	25,401
子会社株式	9,869	10,131
その他	5,032	3,816
貸倒引当金	△113	△155
資産合計	169,320	177,490

科 目	第82期 平成14年3月末	第81期 平成13年3月末
(負債の部)	111,352	117,995
流動負債	69,935	65,874
支払手形・買掛金	35,918	36,727
短期借入金	18,206	17,446
一年内償還社債	5,000	—
その他	10,810	11,700
固定負債	41,416	52,121
社債	8,000	13,000
長期借入金	17,978	23,285
退職給付引当金	15,438	15,579
その他	—	256
(資本の部)	57,968	59,494
資本金	17,009	17,009
法定準備金	20,576	20,496
資本準備金	16,942	16,942
利益準備金	3,633	3,553
剰余金	16,779	16,583
任意積立金	4,886	5,051
当期末処分利益	11,892	11,531
(うち当期利益(△損失))	(1,810)	(△3,892)
評価差額金	3,607	5,405
自己株式	△4	—
負債及び資本合計	169,320	177,490



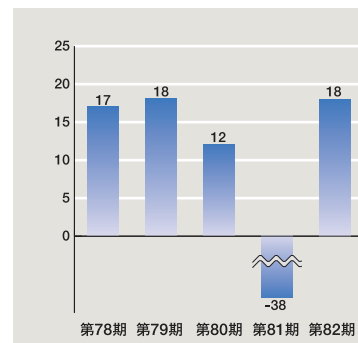
売上高

(億円)



経常利益

(億円)



当期利益

(億円)

損益計算書

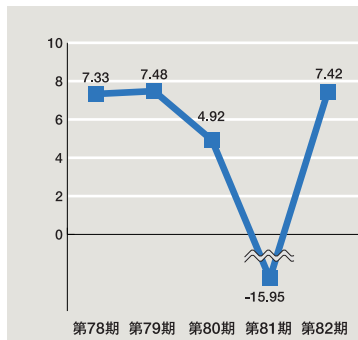
(単位：百万円)

科 目	第82期 平成13年4月～ 平成14年3月	第81期 平成12年4月～ 平成13年3月
売上高	142,741	154,397
売上原価	126,257	135,140
販売費及び一般管理費	14,090	14,600
営業利益	2,393	4,656
営業外収益	2,975	1,770
営業外費用	2,088	2,144
経常利益	3,280	4,283
特別利益	581	7,759
特別損失	1,701	18,945
税引前当期利益(△損失)	2,160	△ 6,901
法人税、住民税及び事業税	980	1,560
法人税等調整額	△ 629	△ 4,569
当期利益(△損失)	1,810	△ 3,892
前期繰越利益	10,814	16,229
中間配当額	732	732
利益準備金積立額	-	73
当期末処分利益	11,892	11,531

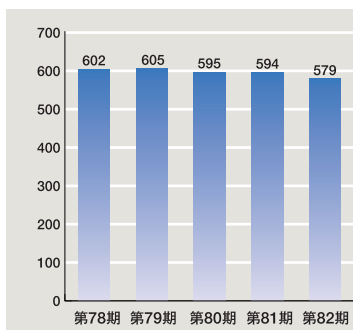
利益処分

(単位：百万円)

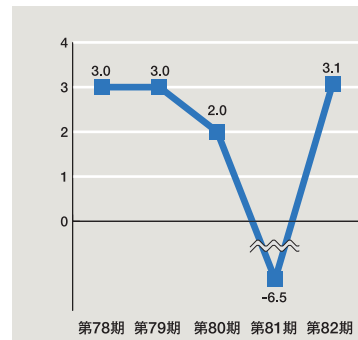
科 目	第82期 平成14年3月期	第81期 平成13年3月期
当期末処分利益	11,892	11,531
任意積立金取崩額	174	181
計	12,067	11,713
利益処分量		
利益準備金	-	80
利益配当金	732	732
役員賞与金 (うち監査役分)	56 (8)	70 (8)
任意積立金	15	16
計	804	898
次期繰越利益	11,262	10,814



EPS (一株あたりの当期利益) (円)



株主資本 (億円)



ROE (株主資本利益率) (%)

連結情報 (ご参考)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第82期 平成14年3月末	第81期 平成13年3月末
流動資産	108,387	116,460
固定資産	147,764	146,843
資産合計	256,151	263,304
流動負債	114,721	113,280
固定負債	57,566	67,068
負債合計	172,288	180,348
少数株主持分	8,097	7,853
資本金	17,009	17,009
資本準備金	16,942	16,942
再評価差額金	39	39
連結剰余金	38,599	37,631
その他有価証券評価差額金	4,294	6,017
為替換算調整勘定	△ 1,114	△ 2,538
自己株式	△ 4	△ 0
資本合計	75,766	75,101
負債、少数株主持分及び資本合計	256,151	263,304

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第82期 平成13年4月～ 平成14年3月	第81期 平成12年4月～ 平成13年3月
売上高	242,746	254,922
売上原価	207,262	215,733
販売費及び一般管理費	29,158	28,719
営業利益	6,326	10,469
持分法による投資利益	998	1,065
その他営業外収益	1,508	1,694
営業外費用	3,062	3,342
経常利益	5,771	9,886
特別利益	1,107	7,364
特別損失	2,443	23,068
税金等調整前当期純利益(△損失)	4,436	△ 5,817
法人税、住民税及び事業税	1,881	3,410
法人税等調整額	△ 675	△ 5,836
少数株主利益	622	69
当期純利益(△損失)	2,609	△ 3,461

株式の状況

(平成14年3月31日現在)

発行する株式の総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	25,173名

大株主

(平成14年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
三菱信託銀行(株) (退職給付信託口・大同特殊鋼(株)口)	30,892	12.7
日商岩井(株)	19,029	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	11,192	4.6
みずほ信託退職給付信託 神戸製鋼所口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	9,504	3.9
(株)第一勧業銀行	8,817	3.6
UFJ信託銀行(株)(信託勘定A口)	7,428	3.0
(株)横浜銀行	7,406	3.0
三菱信託銀行(株)(信託口)	6,873	2.8
日商岩井保険サービス(株)	6,432	2.6
(株)UFJ銀行	6,395	2.6

取締役・監査役

(平成14年3月31日現在)

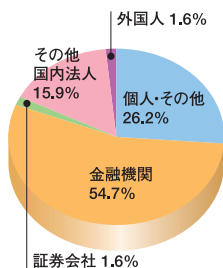
取締役会長	前田次啓
取締役社長	佐々木謙二
取締役副社長	石川康宏
取締役副社長	河村公二
専務取締役	宮田忠男
専務取締役	稲葉恒夫
常務取締役	峰岸甫
常務取締役	鈴木啓一
常務取締役	藤田一彦
常務取締役	天木武彦
常務取締役	池田勝一
取締役	吉田英穂
取締役	水谷正史
取締役	光武紀芳
取締役	石川隆重

取締役	長澤國雄
取締役	重岡巖
取締役	布施武
取締役	天野一敏
取締役	佐々木晃一
取締役	山口努
取締役	升谷治樹
取締役	長瀬悠一
取締役	永田正男
取締役	木村雅彦
取締役	高橋秀敏
常勤監査役	中村佐千夫
常勤監査役	野口昌美
監査役	大舘隆
監査役	草道昌武

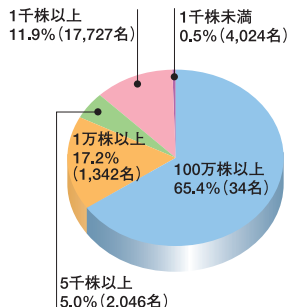
株式の分布状況

(平成14年3月31日現在)

所有者別株数比率



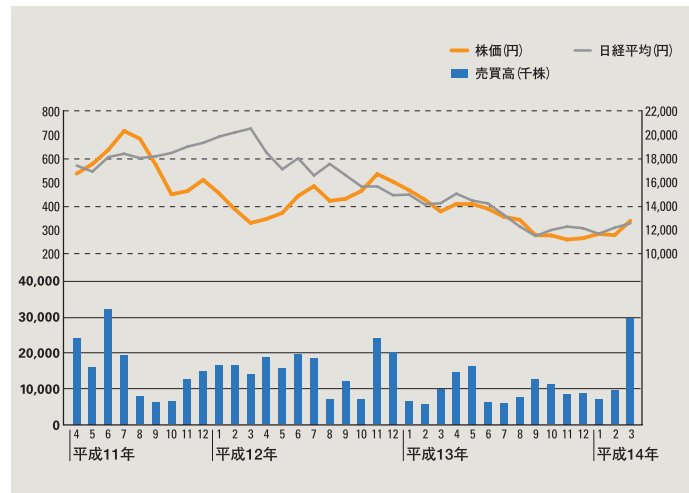
所有数別株数比率



中間配当

平成13年11月16日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月14日、1株につき3円の間配当を実施いたしました。

当社株価・売買高の推移



株主メモ

1. 基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします
2. 配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行う場合は9月30日
3. 名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 (登記上ユーエフジェイ信託銀行株式会社)
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03)5683-5111 (代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
4. 公告掲載新聞	日本経済新聞
5. 貸借対照表および損益計算書 掲載のホームページアドレス	http://www.nhkspg.co.jp/ir/index.html

会社概要

(平成14年3月31日現在)

設立	昭和14年(1939年)9月8日
資本金	170億円
従業員数	3,806名
本社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3丁目10番地 電話 (045)786-7511
分館・分室	東京分館／横浜分室
支店	北関東／浜松／名古屋／大阪／広島
営業所	福岡／熊本
工場	横浜／群馬／太田／厚木／伊勢原／伊那／駒ヶ根／豊田／滋賀／野洲
海外事務所	イギリス／スペイン
国内関連会社	28社
海外関連会社	25社